



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年10月29日

上場会社名 株式会社システムリサーチ 上場取引所 東
 コード番号 3771 URL http://www.sr-net.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 布目 秀樹
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員広報室 (氏名) 鳥居 文孝 (TEL) 052-413-6820
 四半期報告書提出予定日 2018年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家およびアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	6,649	13.7	421	24.6	420	25.7	284	22.6
2018年3月期第2四半期	5,847	7.0	337	△17.2	334	△17.3	231	△16.4

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 284百万円(20.1%) 2018年3月期第2四半期 237百万円(△15.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	68.03	—
2018年3月期第2四半期	55.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	8,369	4,742	56.6
2018年3月期	8,514	4,667	54.7

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 4,738百万円 2018年3月期 4,664百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,661	7.4	1,268	28.8	1,264	27.9	847	27.0	202.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	4,180,000株	2018年3月期	4,180,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	893株	2018年3月期	826株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	4,179,150株	2018年3月期2Q	4,179,248株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2018年11月14日(水)に投資家およびアナリスト向けの説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第2四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
3. その他	10
生産、受注及び販売の状況	
① 生産実績	10
② 外注実績	10
③ 仕入実績	10
④ 受注実績	11
⑤ 販売実績	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日銀が発表した2018年9月の短観（企業短期経済観測調査）によれば、大企業製造業における業況判断指数（DI）は前回6月調査から2ポイント悪化のプラス19ポイントとなり、3四半期連続で悪化しました。また、産業別では、大企業自動車製造業における業況判断指数（DI）は、前回6月調査では7ポイント下落と悪化しましたが、今回調査では1ポイント上昇のプラス16ポイントと改善しました。しかしながら、貿易摩擦などによる海外経済の不確実性のほか、長引く原材料高や自然災害が景況感を押し下げています。

当社グループが属する情報サービス業界におきましては、経済産業省より発表された「特定サービス産業動態統計」によると、2018年8月の情報サービス業の売上高合計は、前年同月比1.2%増加と7月に減少となったものの再び増加に転じました。内訳では主力の「受注ソフトウェア」は同1.2%減少、「ソフトウェアプロダクツ」は同8.8%増加、「システム等管理運営受託」は同3.6%の増加となりました。

こうした環境下、企業のシステム構築を中心とするSIサービス業務は、自動車関連製造業など当社主要顧客からのIT投資需要が堅調に推移し、売上高は2,886,224千円（前年同期比11.2%増）となりました。また、ソフトウェア開発業務では、既存顧客からの継続受注を安定的に確保でき堅調に推移したことに加え、新規顧客などからの案件を積極的に受注した結果、売上高は3,466,835千円（前年同期比16.0%増）となりました。ソフトウェアプロダクト業務におきましては、次世代通販業向けシステム「Simplex」やクラウド型顧客管理システム「Warm+」などの販売で、売上高は196,592千円（前年同期比0.2%増）となりました。商品販売ではパソコン・情報機器、ソフトウェア等の商品仕入れ販売により、売上高は73,406千円（前年同期比36.0%増）、その他のWEBサイトの運営ならびにクラウドサービス（SaaS）等での売上高は26,652千円（前年同期比64.5%増）となりました。

利益面におきましては、顧客企業のIT投資は引き続き堅調に推移しており、受注量の増加に伴いSE稼働率は高稼働を維持しております。また、経費削減策を継続するとともに、PRM（プロジェクト・リスク・マネジメント）活動に引き続き取り組むことにより利益改善につながりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高6,649,710千円（前年同期比13.7%増）、営業利益421,303千円（前年同期比24.6%増）、経常利益420,776千円（前年同期比25.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益284,308千円（前年同期比22.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金および仕掛品が増加したものの、受取手形及び売掛金が減少したことなどにより、8,369,707千円（前年同期比145,051千円減）となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、短期借入金が増加したものの、買掛金、未払法人税等および賞与引当金が減少したことなどにより、3,626,761千円（前年同期比220,737千円減）となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、利益剰余金の増加などにより、4,742,945千円（前年同期比75,685千円増）となりました。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ301,390千円増加し、3,839,841千円（前年同期末は3,302,184千円）となりました。

また、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は、452,366千円（前年同期は609,872千円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益420,776千円、売上債権の減少による増加額520,367千円などの増加要因が、たな卸資産の増加額112,055千円、仕入債務の減少額91,933千円および法人税等の支払額214,867千円などの減少要因を上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は、35,631千円（前年同期は41,032千円の減少）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出30,750千円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により減少した資金は、115,344千円（前年同期は20,251千円の減少）となりました。これは主に、長・短期借入れによる収入850,000千円、長・短期借入金の返済による支出756,162千円や配当金の支払額208,958千円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の通期業績予想につきましては、2018年5月10日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,573,655	3,875,046
受取手形及び売掛金	2,868,122	2,314,317
商品及び製品	3,385	3,013
仕掛品	63,732	176,168
貯蔵品	4,784	4,775
その他	41,524	57,253
貸倒引当金	△286	△230
流動資産合計	6,554,918	6,430,345
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	477,904	463,678
土地	604,806	604,806
その他（純額）	12,019	13,164
有形固定資産合計	1,094,731	1,081,649
無形固定資産		
ソフトウェア	164,051	155,641
その他	7,875	7,782
無形固定資産合計	171,927	163,423
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	315,465	319,429
その他	377,716	374,858
投資その他の資産合計	693,181	694,288
固定資産合計	1,959,840	1,939,361
資産合計	8,514,758	8,369,707

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	586,359	498,376
短期借入金	—	180,000
1年内返済予定の長期借入金	847,442	816,963
未払法人税等	257,657	164,171
賞与引当金	610,294	541,468
受注損失引当金	21,517	20,261
その他	858,619	795,593
流動負債合計	3,181,888	3,016,833
固定負債		
長期借入金	665,611	609,928
固定負債合計	665,611	609,928
負債合計	3,847,499	3,626,761
純資産の部		
株主資本		
資本金	550,150	550,150
資本剰余金	517,550	517,550
利益剰余金	3,571,044	3,646,393
自己株式	△671	△895
株主資本合計	4,638,072	4,713,198
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,414	8,613
退職給付に係る調整累計額	16,724	17,006
その他の包括利益累計額合計	26,138	25,620
非支配株主持分	3,048	4,126
純資産合計	4,667,259	4,742,945
負債純資産合計	8,514,758	8,369,707

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	5,847,993	6,649,710
売上原価	4,729,209	5,354,770
売上総利益	1,118,783	1,294,940
販売費及び一般管理費	780,888	873,637
営業利益	337,895	421,303
営業外収益		
受取利息	5	7
受取配当金	111	115
受取保険金	—	2,000
助成金収入	1,086	1,040
その他	641	928
営業外収益合計	1,845	4,091
営業外費用		
支払利息	5,129	4,611
その他	114	6
営業外費用合計	5,243	4,618
経常利益	334,496	420,776
特別損失		
固定資産除却損	160	—
投資有価証券評価損	1,676	—
特別損失合計	1,837	—
税金等調整前四半期純利益	332,658	420,776
法人税等	100,741	135,390
四半期純利益	231,917	285,386
非支配株主に帰属する四半期純利益	20	1,077
親会社株主に帰属する四半期純利益	231,896	284,308

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
四半期純利益	231,917	285,386
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,736	△800
退職給付に係る調整額	3,459	282
その他の包括利益合計	5,196	△517
四半期包括利益	237,113	284,868
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	237,093	283,790
非支配株主に係る四半期包括利益	20	1,077

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	332,658	420,776
減価償却費	58,325	57,995
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△60,448	△68,825
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△19,943	△1,255
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	63	△3,556
売上債権の増減額 (△は増加)	475,540	520,367
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△123,191	△112,055
仕入債務の増減額 (△は減少)	△25,803	△91,933
未払消費税等の増減額 (△は減少)	46,020	△37,779
その他	68,293	△11,683
小計	751,515	672,050
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△136,233	△214,867
その他	△5,409	△4,816
営業活動によるキャッシュ・フロー	609,872	452,366
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△712	△4,881
無形固定資産の取得による支出	△40,419	△30,750
その他	99	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,032	△35,631
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	450,000	450,000
短期借入金の返済による支出	△276,664	△270,000
長期借入れによる収入	500,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△505,521	△486,162
自己株式の取得による支出	—	△223
配当金の支払額	△188,066	△208,958
財務活動によるキャッシュ・フロー	△20,251	△115,344
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	548,588	301,390
現金及び現金同等物の期首残高	2,753,595	3,538,451
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,302,184	3,839,841

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計上すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. その他

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	
	生産高(千円)	前年同期比(%)
S I サービス業務	3,033,260	110.3
ソフトウェア開発業務	3,466,835	116.0
ソフトウェアプロダクト業務	196,592	100.2
その他	26,752	165.1
合計	6,723,440	113.0

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 外注実績

当第2四半期連結累計期間における外注実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	
	外注高(千円)	前年同期比(%)
S I サービス業務	1,234,771	118.9
ソフトウェア開発業務	1,344,321	116.1
ソフトウェアプロダクト業務	15,964	101.6
その他	97	208.6
合計	2,595,154	117.3

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 仕入実績

当第2四半期連結累計期間における仕入実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	
	仕入高(千円)	前年同期比(%)
商品販売	59,083	139.6

- (注) 1 金額は、仕入価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

④ 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)			
	受注高(千円)	前年同期比 (%)	受注残高(千円)	前年同期比 (%)
S I サービス業務	2,844,267	100.4	1,622,317	85.6
ソフトウェア開発業務	3,943,595	129.7	1,099,763	117.1
ソフトウェアプロダクト業務	136,692	53.2	100,100	146.9
商品販売	66,554	85.6	39,031	130.7
合計	6,991,109	112.6	2,861,211	97.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

⑤ 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	
	販売高(千円)	前年同期比(%)
S I サービス業務	2,886,224	111.2
ソフトウェア開発業務	3,466,835	116.0
ソフトウェアプロダクト業務	196,592	100.2
商品販売	73,406	136.0
その他	26,652	164.5
合計	6,649,710	113.7

(注) 1 主な相手先別の販売実績および当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
㈱トヨタコミュニケーションシステム	830,267	14.1	1,115,206	16.7

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。